

藤芳録

三

特別  
15  
1607  
3





枳餘殘芳録卷三



夷曲同好 七は三か  
中筆五か 一冊

昭和廿五年十月の  
弘文館 三千五百冊

吉田里子の知人つれづれに人形を後訪ふ、  
この紙をもしがめると、筆跡をつらつらと  
見たり、改定するに紙を巻、やまふ、  
文行を先化す、  
助考人、  
二徹、  
二、  
二、  
二、  
二、  
二、

明の事、未だ、五ノ下、以、在、三、節、可、ニ、統、括、を、な、し、三、十、四、年、の、記、  
各、跡、を、存、性、也、ニ、改、装、を、せ、し、む、今、之、邊、に、未、だ、附、在、し、小、結、ハ、  
其、時、を、考、へ、添、し、り、之、表、紙、ハ、新、を、文、を、あ、り、と、し、た、生、類、を、  
移、す、り、外、題、散、全、紙、原、照、綴、り、を、考、へ、紫、釘、之、内、空、  
ハ、常、時、を、考、へ、し、書、画、帳、の、一、種、を、考、へ、永、保、紙、と、司、古、男、山、又、  
子、馬、馬、後、湯、其、紙、文、空、を、考、へ、り、松、本、北、馬、在、り、亦、昌、重、  
峰、目、古、林、吾、月、澤、の、虫、千、菴、の、記、亦、空、を、考、へ、り、北、山、七、  
お、中、田、人、紙、箱、四、十、七、型、行、り、直、二、回、金、と、文、を、考、へ、り、

夷曲同好 七字各分 一冊

摺紙、紫色、表、紙、を、考、へ、り、之、外、題、ハ、布、補、ふ、夷、曲、の、如、と、考、へ、り、名、  
つ、け、し、之、内、空、を、考、へ、り、之、外、題、ハ、松、本、新、庭、馬、琴、三、馬、一、九、

里、人、菅、江、の、如、亦、種、類、能、向、江、川、研、祐、佛、々、書、北、馬、北、  
山、北、馬、吾、酒、者、中、吾、且、其、山、カ、ニ、画、行、り、し、と、考、へ、り、永、田、五、  
葉、氏、の、如、考、へ、り、白、紙、後、元、士、入、北、馬、ニ、紙、考、へ、り、亦、考、へ、り、亦、考、へ、り、  
ニ、購、求、し、直、四、十、金、

夷曲同好筆者小結 美濃本 一冊

昭和六年九月の考と記を之に附し、以上三冊、初巻入

夷曲同好 七字各分 一冊

唐紙、綴、布、目、打、下、子、引、表、紙、繪、を、考、へ、り、橋、西、木、欄、考、へ、り、注、河、  
船、考、へ、り、光、全、増、紙、考、へ、り、秋、人、三、和、の、如、亦、考、へ、り、考、へ、り、前、二、冊、  
と、考、へ、り、口、以、亦、文、行、り、考、へ、り、考、へ、り、

夷曲同好 七字各分 一冊











不承を多氣四日即証有り  
 一、此所より後横井多額天<sup>大正</sup>賜を以て多額若部令を以て  
 是を交分せしむに於津の路田四<sup>大正</sup>を以て賜を以てしむに  
 心算より多額私に四<sup>大正</sup>より賜を以てしむに  
 今を以て讀み字<sup>大正</sup>此土村より他を以てしむに  
 治上野修平坊近衛屋と云ふ高地方より此を以てしむに  
 二刻号天正四年<sup>大正</sup>房と稱しむに大正<sup>大正</sup>此を以てしむに未画<sup>大正</sup>

或は人より、衣押と云ふ此の字は仁木<sup>大正</sup>より多額  
 先刻号より<sup>大正</sup>得る多額、いと珍なりと云ふ多額<sup>大正</sup>相<sup>大正</sup>を以てしむに  
 多額<sup>大正</sup>之、詳しく是を令志<sup>大正</sup>に以てしむに、今も此を以てしむに  
 伊智小町塚出土経瓦破片 二片 相不入



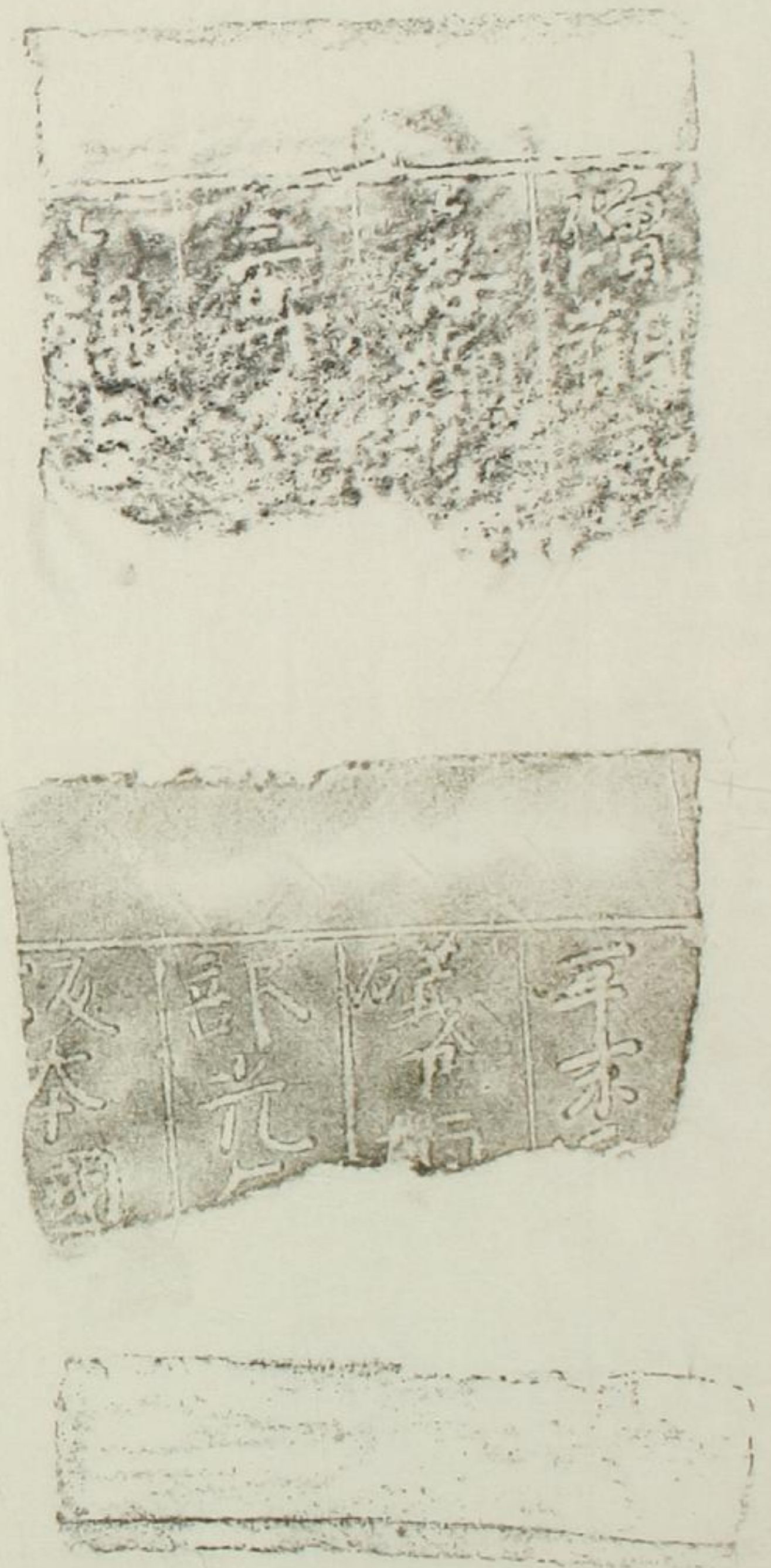
一、(古)丁、承安四年

高倉天皇(泰永)十代、文永二年、  
南宗親在九年、今より十百七十三年前

六、女三銘



隆田、表 悞淨以本尊方、真言明、裏と読りて、或日板



此の錢方鈴木、表は二五経片土、裏はのそお片、  
 五人、まの、求の、傳、まの、信、し、注、を、記、す、の、ま、の、時

井戸端を洗ひて、ましく、かた、新、良、此、一、片、は、手、を、た、ま、  
 上、持、り、た、り、を、記、す、の、時、ま、の、天、持、り、た、り、一、片、は、借、観  
 音、と、忠、観、三、舟、久、方、と、観、与、表、下、方、有、平、末、碓、中、新、光、坂  
 本、四、と、後、の、舟、の、舟、と、ま、の、伊、智、と、持、り、た、り、ま、の、二、五、経、教  
 片、と、一、片、一、田、石、と、ま、の、中、と、歌、名、ま、の、珍、ら、し、ま、の、求、り、ま、の、累  
 の、と、表、田、一、忠、此、伊、智、行、り、ま、の、清、ら、し、ま、の、氣、と、堀、り、ま、の、経、瓦  
 移、り、持、り、た、り、後、の、表、自、行、り、を、残、片、と、持、り、た、り、と、云、清、ら、し、ま、の  
 一、と、清、ら、し、ま、の、お、の、ま、の、人、の、持、り、た、り、と、持、り、た、り、と、二、片、と、ま、の、  
 柳、葉、と、納、り、た、り、ま、の、表、多、の、古、瓦、経、瓦、が、の、舟、と、ま、の、二、片、の、ま、の  
 と、ま、の、山、田、と、ま、の、瓦、経、と、堀、り、た、り、ま、の、表、提、山、と、ま、の、石、の、ま、の、  
 と、ま、の、早、く、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、  
一、片、の、由、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、ま、の、  
ハ

神田<sup>五</sup>天<sup>五</sup>とよ今基地を 茂木田 悉女小 僕 坂 谷之 甚七 坊 多、  
 大泉五十 泉 范 土製 桐 瓦 入 一 片



昭和七年十一月廿日 芝居の 入札にて 二片 四四片之 買、他片 一 片、  
 二片 方 少 多 片 註 文 鮮 多 多 片、其 方 上 幸 之 浦 和、拍 乃 下 之  
 芝居 芝居 芝居 芝居 芝居、製 芝 居 芝 居 芝 居、

磨製牙骨 一個 五十二枚



芝居 芝居 二 個 買 入 一 之、其 方 多 之 芝 居 白 之 磨 芝 居 芝 居、愛

方可る者、所考の主人日ある、或と生る可不知

管 玉 三个 物入

一寸一、八分、一、五分、經ハ、ソレ、御堂行新出

曲 玉 二ヶ

高野尾 百塚 出立 三个  
明治三十九年十月十日 一 牙田  
筆法 三七四 五年 三二 九



赤瑪瑙



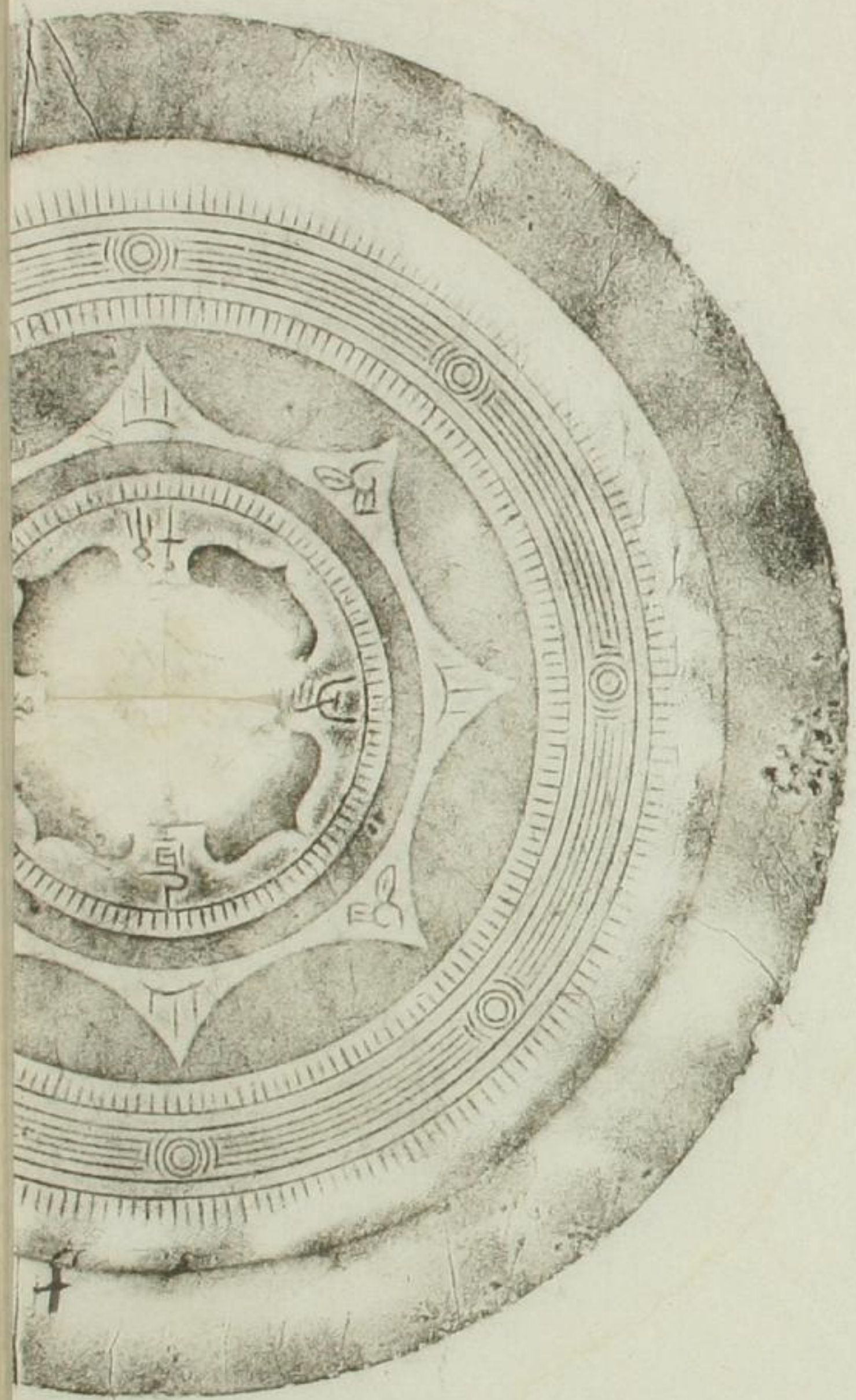
或る瑪瑙

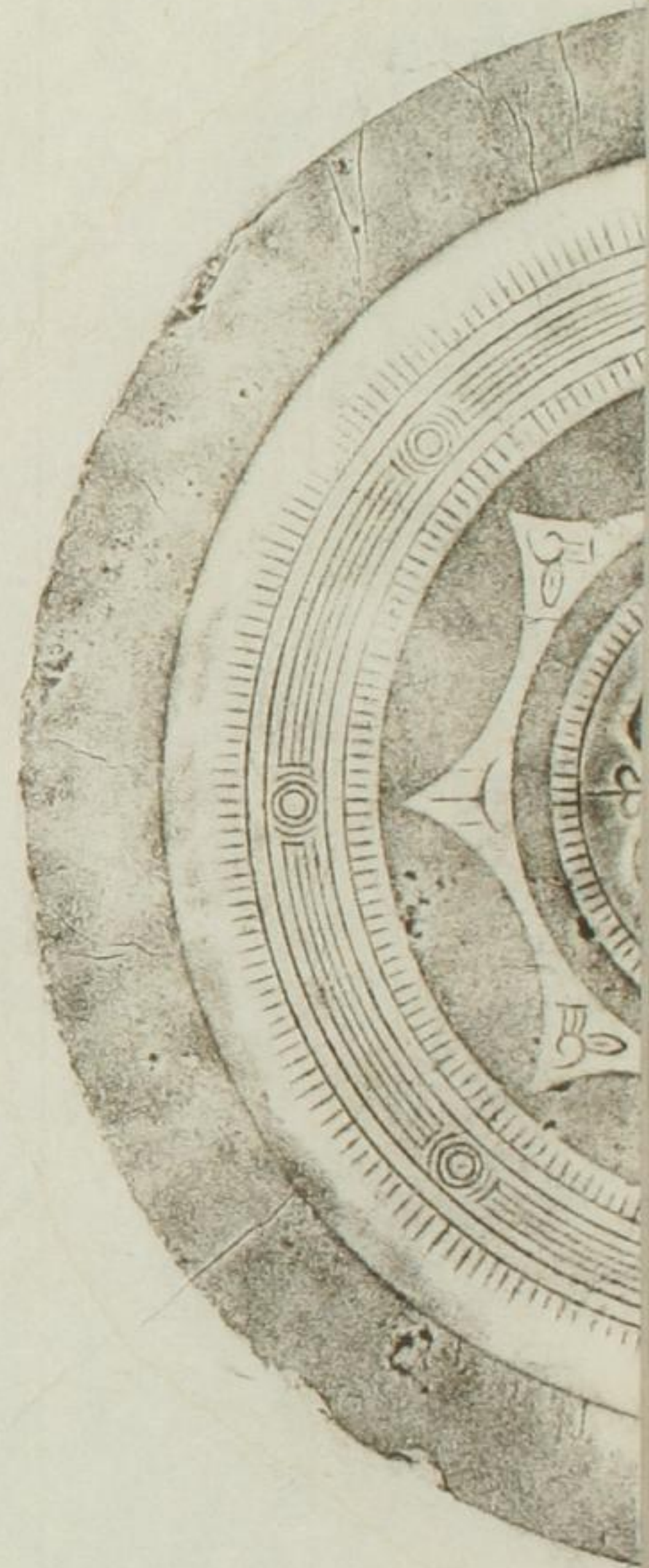
昭和十五年八月十日 牙田 玉と白瑪瑙の曲玉と 唐田 玉と 三四年 購ふ上  
の玉は何處かと尋ねり、此玉は是れ也

石と一、石鏡、石片一、

甲斐末八化新、石山、所造る、空の、照法、天、自ら、採り、た

とて昭和五年六月、<sup>家付、百塚、出立、三ヶと、これと、これと、これと、これと、これと</sup>石上、  
鏡、下、取、扱、お、細、手、扱、り、せ、し、  
管玉、今、不見、或、と、一、則、掲、る、玉、の、八、角、の、文、を、取、り、た  
漢、子、孫、長、身、鏡 布、匣、入、一、面  
鏡、三、面、金、田、若、銀、介、え、大、形、町、手、湯、河、本、  
表、し、精、細、作、造、る、善、工、手、田、也



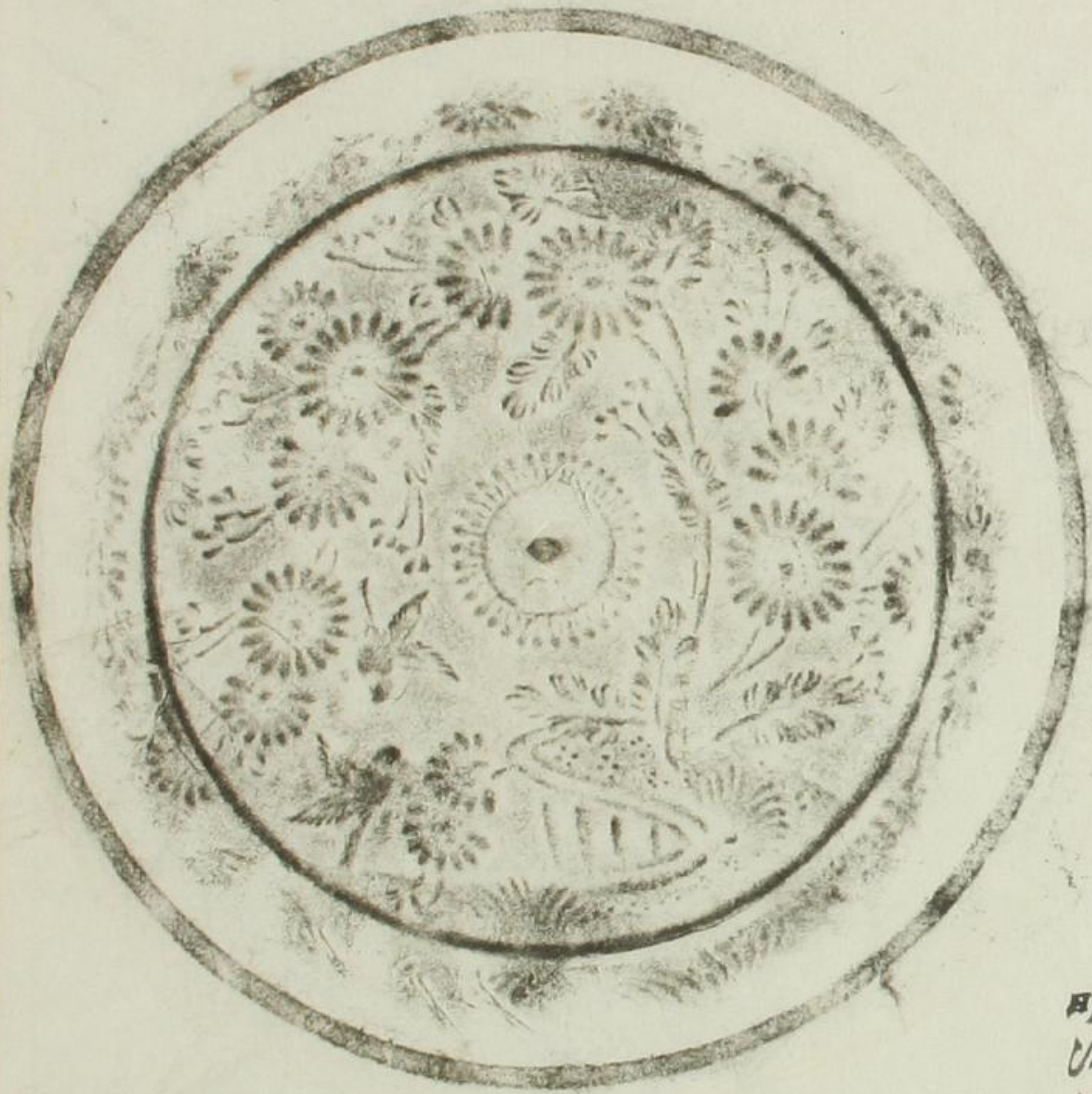


厚之唐製之村口を求しめ、此鏡は、破るに  
 三  
 桑抽匣三重 一個

昭和十七年一月十日物産 琴女達物至理、厚鏡更並三四  
 木地模笥 一個

以上二介を四田生の証價一個を不奉、此方迄工を今、舟才天  
 の成厨多と名とて用ふ、抽匣四つ、皆並例を納む。

菊心 双雀  
 小鳥鏡 一面 厚三重



明治四十三年十一月津布  
 舟才古堂を納む  
 直一元

能句反卷 中三子一帖

是打湘目表紙 選者知十 題額在芒堂苑、柳嶋墨画尾

花菱珠沙花二面入

櫻花雙名鏡 結毛 一面

明治三十九年十二月廿日津市

聖竹芳和正海堂

本直以十五錢



御情中 彦家 長三寸五分三子 四分三寸五分 一个

海濱夕月 漆塗墨紙 漆系 翠玉在製

男山新唐紙切 一本

男山烙本行

冷息村 墨手画 山水中群仙 圓 中一尺五分五分 一枚

己巳仲夏念九日 於製竹堂 桂岳外史 上り多々々し 人知乘

々々無二遊、勿々九人物 既言力と 換々々々 所身々画々力

画々二推々々々 己巳 七 明治三十九年

文行在柳 百二十日

扶西野

袂除新衣服紗 一枚 七尺一寸五分  
巾一尺四寸

彩画皆以二月三日月上旬仿元人筆法画於扇海雲涯嶺之下以应  
田村一兄大人駐居山形平後王其珍團と銘せり、身身身二册扇身十  
中派巻七田村一兄大人と云々、上五巻を曹七定と助、身身身と以、殿  
しと紋綿多と云々、を 服紗、い、う、く、下、面、七、三、十、年、光、緒、三、十、一、年  
晴以所臨成は淑く備と、被地と云々、時、日、多、く、よ、く、其、時、の、羽、と、斑  
の、く、ま、垢、不、名、福、多、を、尋、中、に、三、十、一、年、光、緒、三、十、一、年、の、光、緒、  
三、十、一、年、光、緒、三、十、一、年、光、緒、三、十、一、年、の、光、緒、三、十、一、年、  
坊と、繪、と、其、之、者、と、云、一、を、入、つ、く、煤、と、乳、と、云、筆、と、先、と、  
て、描、く、こ、の、こ、の、こ、を、口、法、と、云、一、田、村、一、兄、と、云、一、と、と、雑、紙、と、  
い、し、ぬ。

晋永楨仙舟服紗 一枚  
巾一尺一寸五分

表紅色綿緞上より三か一の寄り目格子やうを、永楨仙書  
不、考、り、向、き、も、お、ら、り、目、と、兼、存、る、永、楨、義、志、他、白、綿、緞、也  
地、の、寄、り、目、を、昭、和、十、五、年、二、月、七、日、白、木、丸、舟、と、云、一、初、と、古  
書、良、否、全、ら、う、し、時、文、行、い、又、世、を、二、四、を、求、む、こ、の、古、書、全、を、  
法、古、家、漸、し、く、く、と、を、云、一、不、謂、也、云、後、に、余、と、云、一、

朱毛綿緞服紗 一枚  
巾一尺一寸五分

中央に徑四寸三分斗い揚り、時と全綿を、縫、ぬ、り、目、三、か、の、目、  
より、不、考、り、目、を、け、著、く、け、り、目、と、表、す、け、可、用、と、云、一、其、  
て、云、飾、り、目、を、著、り、目、を、著、り、目、を、著、り、目、を、著、り、目、  
を、著、り、目、を、著、り、目、を、著、り、目、を、著、り、目、を、著、り、目、

慰斗小糸文振綿緞水小服紗 一枚  
巾一尺一寸五分

素朱緒編子を樽をとりしり、柳のまことすけりしあとの角子  
酒しり、

鉄色鼠羽を單服紗一尺二寸一枚

角のあそく、玉叶の紋あり、叶字と井桁の組也、

御古書セテテのあセテテ紙一枚

朱紗綾形、刷表紙、木版、外取あり、神田通うを往久万後尾

妙正尼より授也、

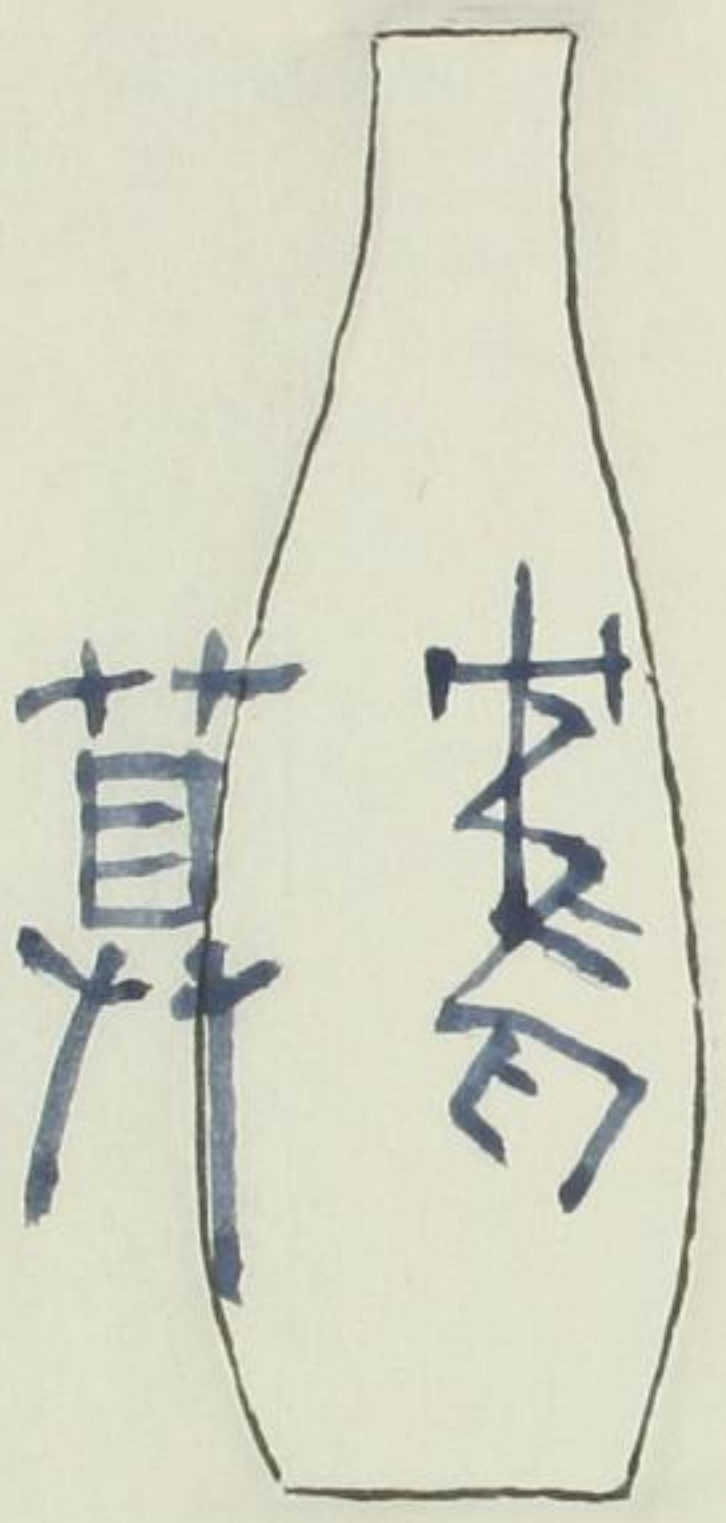
となりの花入 昔茶一箱

鉄釘七寸八分上口径三寸在銘、呉子之義、終法めくか摩

甲は壽といけり、丙子まゝ表紙作、花巻下りのふんき、ふん

のこ三島、送りまらそつ、

何器子 寸五寸口径  
八分底寸下 一本



文云 鶴公昇  
竹雲景

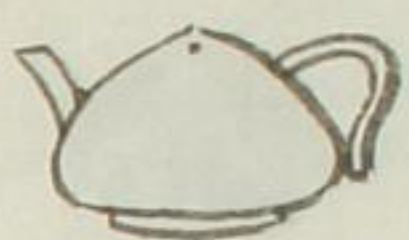
そのかき陣立、内子やを、飯造と稱を、まけ、移りし時、三十五  
陽を、算よ、

切花砂子製馬上杯 寸三寸八分  
口径寸三寸五分 一個  
与縁全前繪、

店：清風送とあり、杉松  
赤味、茶入、蓋：清風室  
と石書とあり、酒壇の一

雙竹を蔵の象懸、不吉  
を、もと、庭表とふ、一本、  
りし、ま、と、呼、三、十、五、年

九谷白磁水筒 一个



高一寸二分 径二寸 須田村若草造 銚子 昭和十五年十一月 詔  
前多田田圃日笠燈籠 自合野 世に送るべきもの、と思  
儀と云ふものなり

层形水筒 一个



高三寸四分 層板中三寸三分 底部  
二寸四分 一十八分 孝朝磁窯 水  
筒と菟山と多し 二百 壬午に吉野と  
市に打すを多し 内人少くを多  
あり 浦和名町の病床に傍にあり  
昭和十五年十一月に之を 芝田入札

二十二日三十分 湯と居札

金銅文昌星 一軀



高四寸六分 星九十五文

桐葉入表古文

金銅文昌星 表


竹居人 鏗 殆 元六 備却 表  
自署 時 乙卯 正月 上元 曉 香 檜  
残口

明治四十一年一月 吉野津にあり 店跡 迄及 年 札 あり 為 上 苑 六  
尺 何 かし 此 文昌 星 像 と 云ふ 功 通 山 中 あり 清 以 たり 時  
以 後 となりし あり なる 是 非 確 たる あり 世 にも あり 功 通



法書面を以てし、右に左と自覚、うしよの持し、  
あは、豫り、致し、ま、中、二、口、の、と、踏、を、う、と、し、ま、の、こ、物、  
ま、年、の、夏、若、の、先、生、備、あ、り、片、同、言、ま、三、指、の、口、人、三、踏、  
不、三、法、の、踏、し、時、文、書、を、と、踏、る、が、あ、り、ま、お、目、三、年、の、  
つ、の、先、生、の、つ、り、し、あ、り、既、に、知、る、ま、あ、り、し、と、ま、あ、り、送、る、  
す、の、あ、り、ま、あ、り、ま、あ、り、十五、金、送、る、ま、あ、り、あ、り、ま、あ、り、  
法、持、書、を、二、函、を、送、る、し、二、一、と、相、ま、あ、り、あ、り、と、送、る、ま、あ、り、  
上、の、中、の、あ、り、と、持、ち、て、ま、あ、り、二、月、あ、り、と、送、る、函、書、と、あ、り、併、を、文、  
星、三、銀、と、踏、り、し、三、先、生、云、三、三、の、夜、知、く、く、あ、り、と、銀、を、あ、り、  
さ、り、し、あ、り、と、あ、り、ま、あ、り、と、あ、り、銀、と、ま、あ、り、と、あ、り、と、備、あ、り、と、  
送、る、し、二、送、る、し、二、小、形、を、ま、あ、り、と、あ、り、の、ま、あ、り、と、あ、り、と、

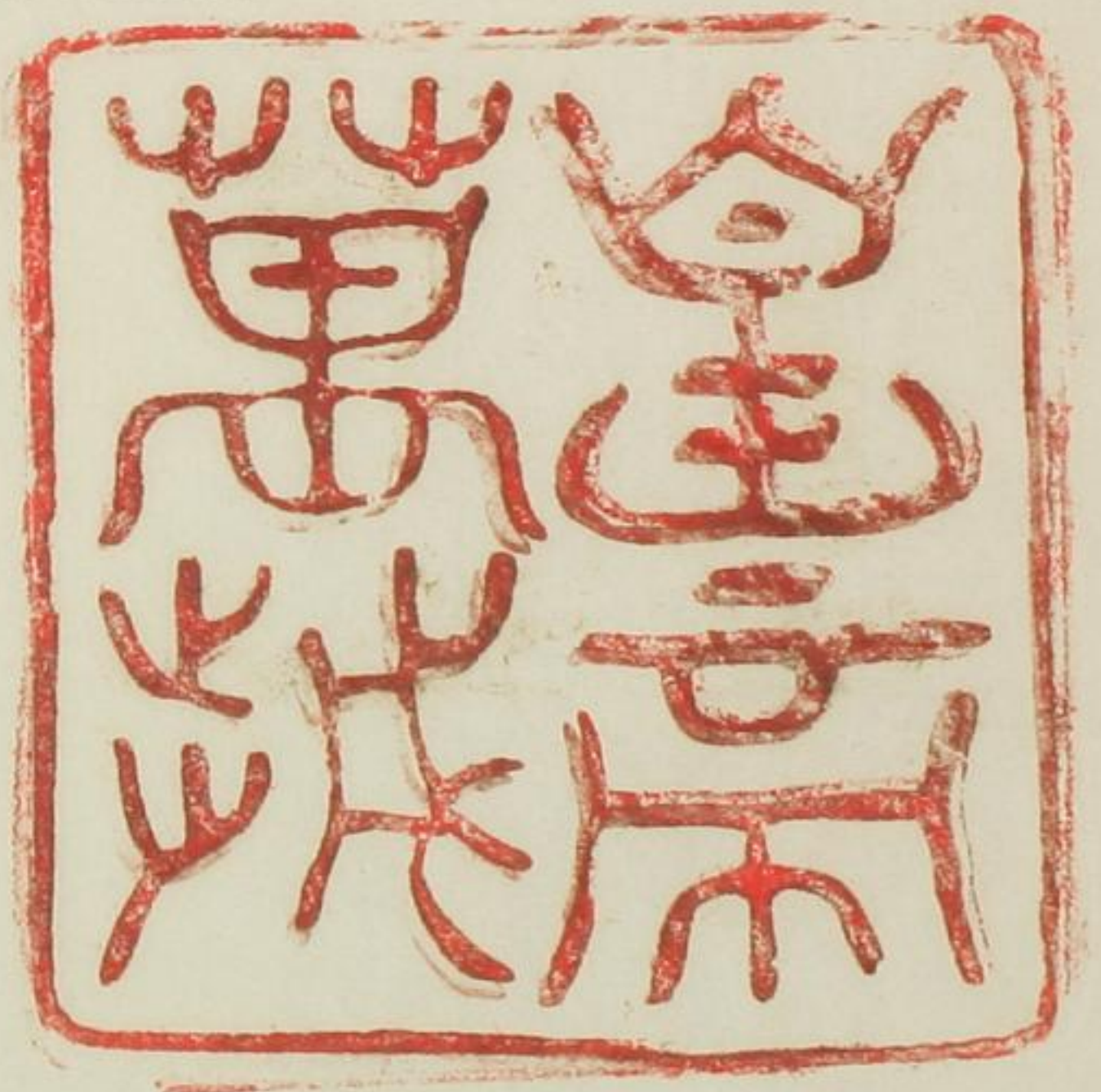
ウツマン歌留多 加系入 七十四枚 香取巻長尾館介由田銚屋

留て文紙と今をら、一枚右名、**銀箔系、金泥を**  
い、松、粉、を、の、剝、落、し、紙、に、け、り、ま、あ、り、五、種、各、十、五、枚、中、劍、  
の、尖、三、花、の、つ、け、ら、 二、と、あ、り、

〔和洋三才回念〕按、松、粉、を、製、古、今、同、今、何、用、否、本、出、於、菊、  
堂、矣、用、厚、紙、作、之、外、黒、内、白、而、有、画、文、若、名、字、已、赤、色、印、  
須、圓、形、若、若、半、圓、扶、若、骨、之、四、品、各、十、二、共、四、十、八、枚、其、畫、  
一、則、畫、形、年、三、二、至、九、画、數、目、也、十、則、作、形、十、即、名、十、一、騎、  
馬、即、名、十、二、似、此、物、亦、岐、主、名、目、亦、電、語、矣、

送、送、抄、上、釘、係、函、三、條、あ、り、一、條  
今、田、若、原、送、言、二、子、五、分、ハ、ク、ツ、ク、送、る、と、知、り、ま、あ、り、と、

皇帝萬歲清銅印 初五入一類



高二十三分量百九十二錢昭和十一年一月廿六日入於十八日多為之是也 箱蓋表唐印

皇帝萬歲紀大季珍意 乃云田河之精 箱蓋古也  
 此方諸方之乃 明治三十七八年と云云 是を清々として  
 二乃しと云云 是實古所請未 昭烈皇帝之印 之と云云 珍意  
 是乃と皇帝萬歲 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 之乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 他乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云

一覽圖卷 一巻 文行を如三番出

細註表紙 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云  
 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云 乃と云云





委新五元竹繼多表紙、幸之帳、  
の旁留徳牙部と定由、後、河野之陵山、鏗海、  
三訪屋と云々其の、  
寄上、鶴安、  
愛新帳

愛新帳 中三子一帖 快入

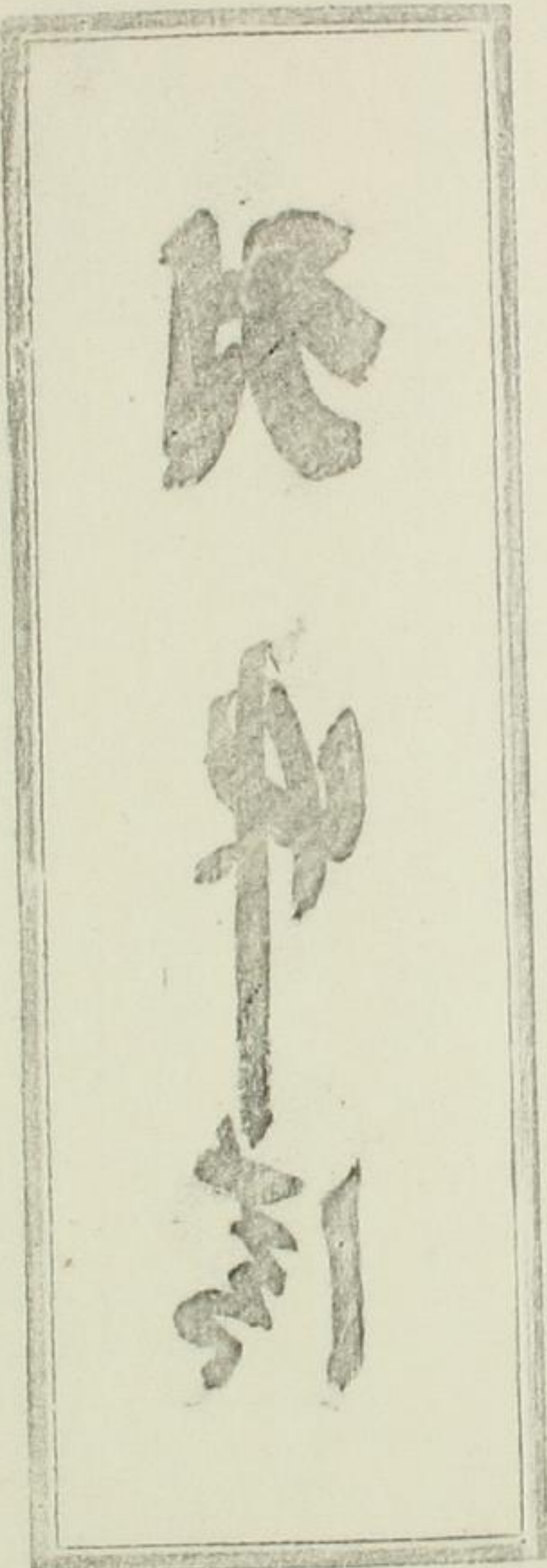
文行在拂

帳ニ愛新帳と有り、帖ニ翰墨、  
庵故所と初以、  
一、  
柳外

柳外 廿字 抄卷 一巻

中川 士剛 抄卷、  
竹清 干社 札板 木 一枚

竹清 干社 札板 木 一枚



伊留津 土家 坑 窓 応 土 院 心 漢 筆 刊 不 編 彼 番 取 堂 筆 刻  
今 場 細 見 繪 圖 中 三 子 一 鋪

後 委 地 格 主 編 表 紙、  
尾 注 必 活 七 板 卜 行 彩 色 刷、  
小 匠 監 所 三 子 地 三 子 活 活 活 卜 行 三、  
者 三、

日 引 務 旬 廿 三 迄 北 國 帳 三 子 一 鋪







鳥の如き情を有り  
 此山と出で岩を  
 一りや打つる  
 一りあをこころ  
 せしむるあまの  
 ことわらうる烟と  
 嘯ししとよま  
 りけりけり  
 一りあをこころ  
 せしむるあまの  
 ことわらうる烟と  
 嘯ししとよま

父 山陰 せしむる岩戸、此行をきくも  
 こころと岩戸とつて提灯を新に  
 奉納うむるに、うら目こころ  
 こころを極むるまゝの  
 うら目とつて相くうらむ  
 此山と出で岩を  
 一りや打つる  
 一りあをこころ  
 せしむるあまの  
 ことわらうる烟と  
 嘯ししとよま

観音経 西条 一帖 中二十八  
巻

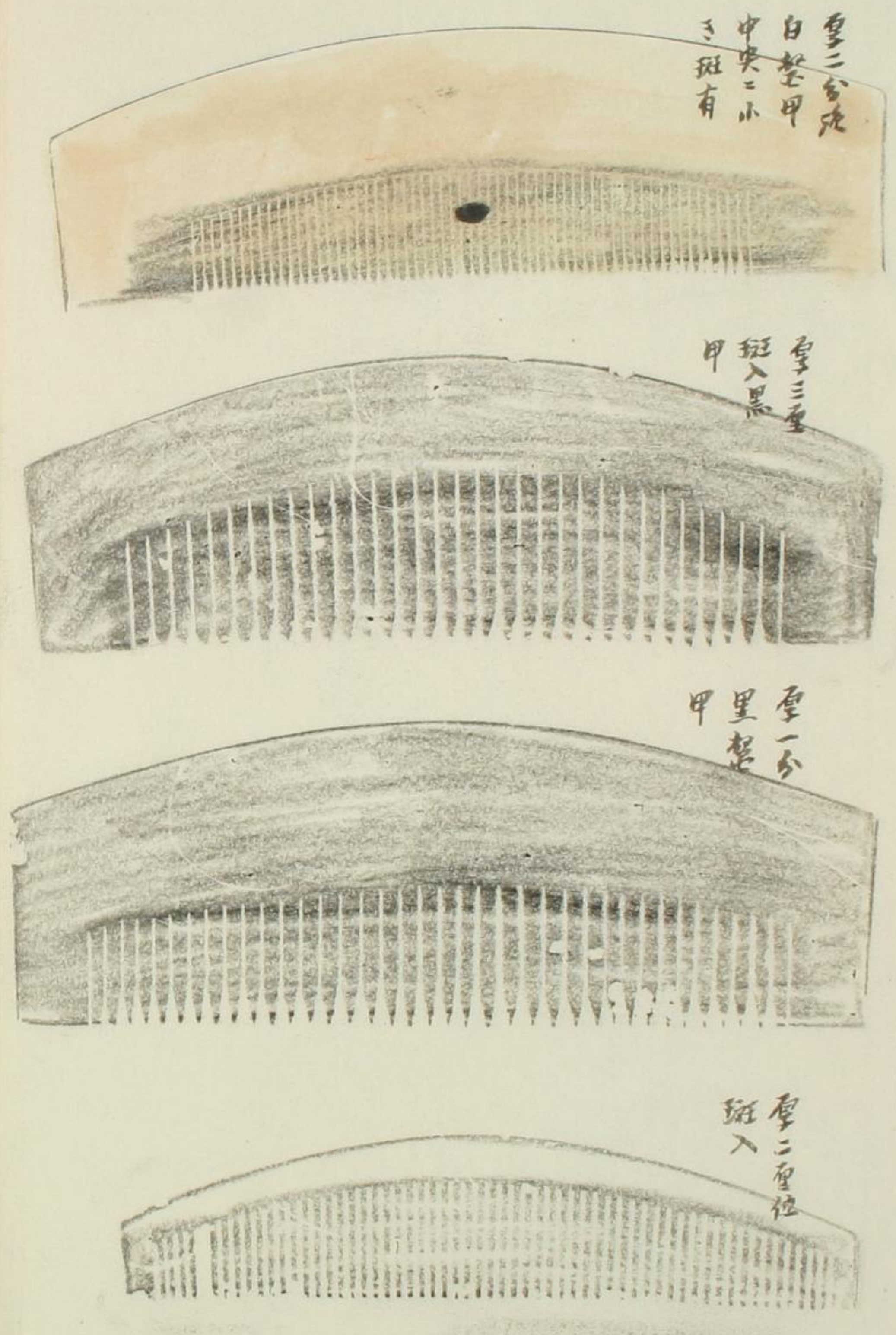
新刻 浄土三部妙典 道元 著 法華 經 卷 一 帖  
 刊本



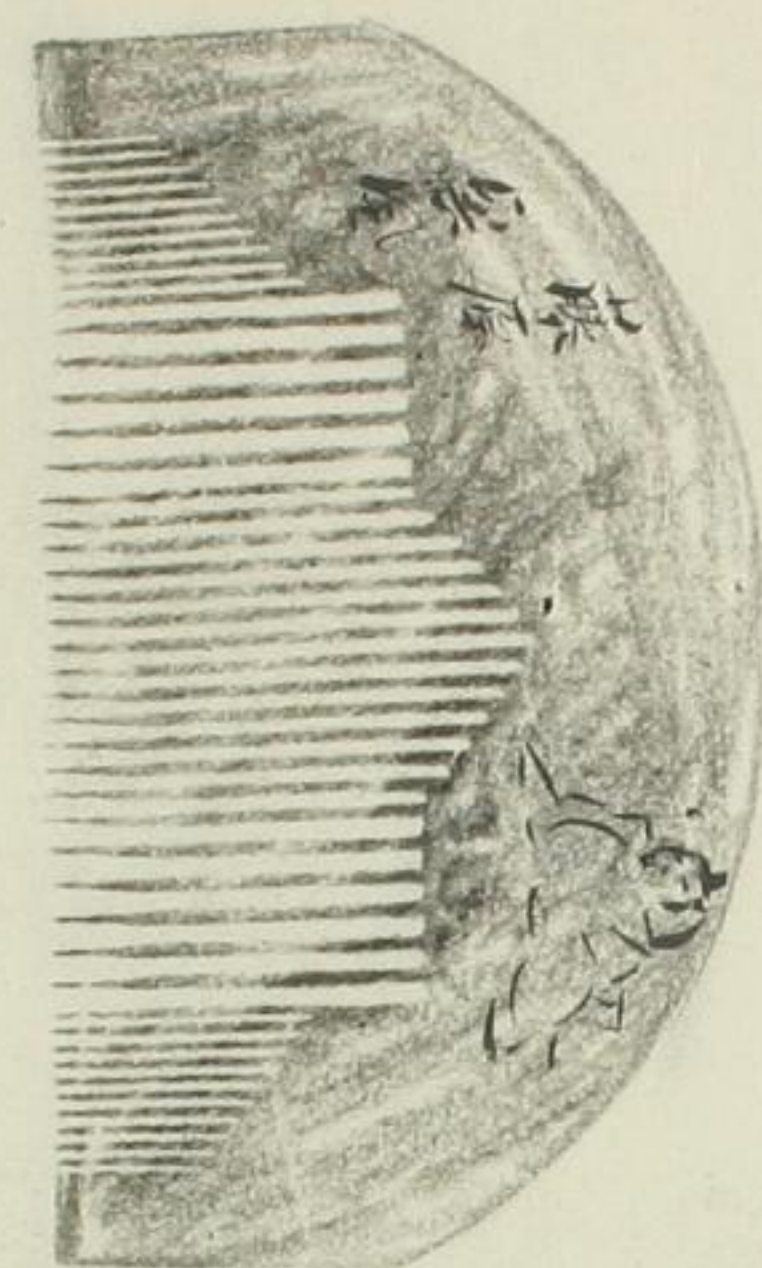




整甲櫛 四枚



賣場小櫛 一枚



昔給石冠人の髪平長尺下り  
 着ニ堂禰うを志人せむす研れ  
 とりり 伊勢王さうし時、贈上厚  
 一かゝるの筆画之内、故堂  
 亦をさるのり、り

賣場子紙入 一個

壹芝和洋面葉株跡をこ細密に縫うせり、日房様との  
 従軍さるの彼西の姑嬢の自編り、半禮を其の表しとを  
 工野りしと紙今仕立せり

全禰女持細筆入烟袋袋生一具



貞柳狂歌卷 七子四 一巻

文行在松

茶玄祥華正持紙綴多麻全銀敷全 堂檀袖茶平打紐 狂歌十九首 狂傳

三首 六首 七首 一首 由綴高と罽を、つりり片綴と云ふ

つりり片綴と云ふ 又と未白此世中のあまの切りせりて千年をくすむ

# 由得糸

活而設之巻 七子 乾坤二巻

銀襖表紙全勝外取本紫平打紐と云ふ 全は沙押水晶軸

乾の巻奥書 右東山活設之巻五十首者中活序文三全

活當活と綴りて活名を言ひつゝ不可不之巻也 室綴之甲

寅七月吉日 秘符 秘符名 志吉口 如屋帳年丈

坤之巻奥書 右みそ 秘符名 秘符名 秘符名 右活活秘

詠不許宜易所包熟吟考案可為思惟余者口 活活活

可活活活也 秘符 秘符名 志吉口 如屋帳年丈

用紙多者居之 中 紙中天地全線 一 二行

書

一閑法 筆入 右蓋物サキニナク



墨漆松花型

砂子蓋筆入 一個

斑竹軸唐筆四枝 徑四分軸字墨 經天純池 鄂香桂自造 一 徑三分

羊毫 一 徑二分軸一寸七分 助大人高樂寺丹桂杖學士

羊毫 一 徑一分半軸一寸七分 助大人高樂寺丹桂杖學士

真上多毫 唐抄本一、徑三分軸二分四分入 狼毫屏筆 休城胡中

一、白紙軸一枝 徑三分軸二分四分入 銀陳宿中楷純羊毫 休城胡中一、文精選

石玉蓋筆匣 一個

筆二枝 翠色角制軸筆帽徑三分長二分四分帽 銘魚日可五物也

宋 御封陳桂其老

筆一枝 紙不入 軸五分三分徑二分鋒

日边天顏 曹嘉如

漆竹軸羊毛筆 呈松 大中小三枝

御筆 とらふ紙管入

羊毛筆銀四軸如之 軸及帽三角入徑三分 一枝

澄額 徑三分弱 二枝

雀頭筆 徑三分半根毫 一枝

羊毛筆 銘管筆徑三分弱 一枝

中羊毫 徑四分筆鋒二分八分 一枝

晉唐小楷 徑三分管毫 一枝

頂大卷筆 徑二分毫馬毛鋒 一枝

李王家美細工場製筆五枝

羊毛銘筆五色 徑五分管上下紫檀ヲ裝 一老筆 羊毛徑二分五分軸八

二、登岸 徑二分羊毛

朝鮮筆 二枝

赤竹筆袋、羊毛の鹿毛の柔々し、徑二分毫銀者魚尾鬚











竹溪詩集 樹下小公

福臣法彩山水

巖石一六手紙 壁畫卷

五仙平溪四圍半全確收即付四圍全

以充周文舍費請為高是是禱

五仙長纏天賜風文一尋確是痕

噫 於古之再拜 七月廿日

錦山先生詩詞

竹溪和款短冊 (三給字) 潘遠刀水和款小版

些論野寬年與畫書 有詩 昭和四年

此人當散字契厨 五十七年疎世道揭自玄秋聖蹟在

元朝程對菊花園 之此一不寬

覺

水雲跋告陸 紅卷紙

紅楓葉三枝

右門外山美玉少也

神道寺街

石十月

吉直



古人所管漆書高似苑生自蔡  
倫諸家造紙而後字書者其迹  
重為可朽紙紙多為下明鑿者  
次之粉初者尤次之他如耿絹

之在文字可聞書家流瑞贈務茲以素紙中剔選最善者  
千種凝練潔白世瑕名曰冰雪牋以供於諸家雅愛 於  
香之人洗口口

切手經卷第四 長卷紙 本地橙軸 一卷 昭和二十五年十月七日 仙文莊 佛 一百四

光明皇后經卷 二行 天平十二年五月一日記

十五枚一枚廿寸五分中一尺五寸 每紙廿五行 一行十七字 廿字 偶七 廿字 廿

田推田君以社之

隅寺心经 七字五分 一枚

安田推田君贈

鼠心经 七字五分 一枚

予任檢、其の所以書法上り、

招佛思門天一紙六枚

嘉、應保二年 三月七日 鬼宿日曜 佛養 千祈内卜書書 安田君贈

應保、長原主二條天皇の昭令あり七百〇五年あり

明月記 一七字五分 中一尺五分 二枚 弘文莊三枚 弘文百目

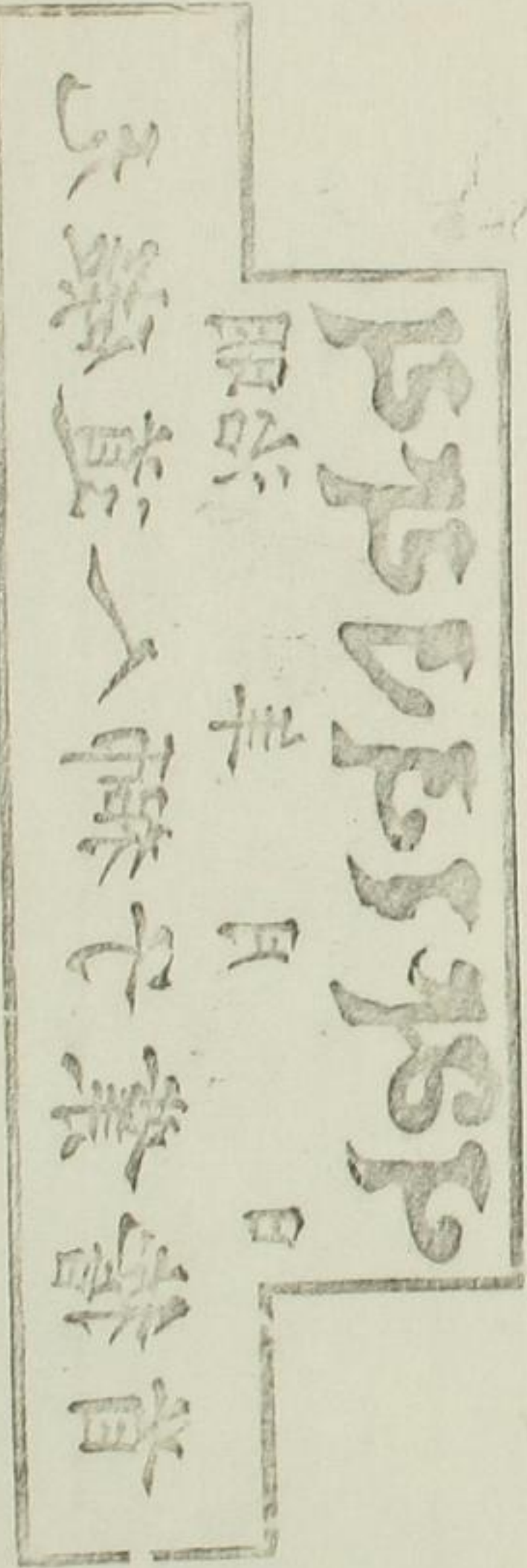
同上 中一尺五分 一枚

以上三枚 在津中 芳村玉誠君より

同上 七行 一枚

大念三之刀水出出所と居所あり

今泉也軒命千祈九板木 一枚






昭和四年七月五日 田君之贈

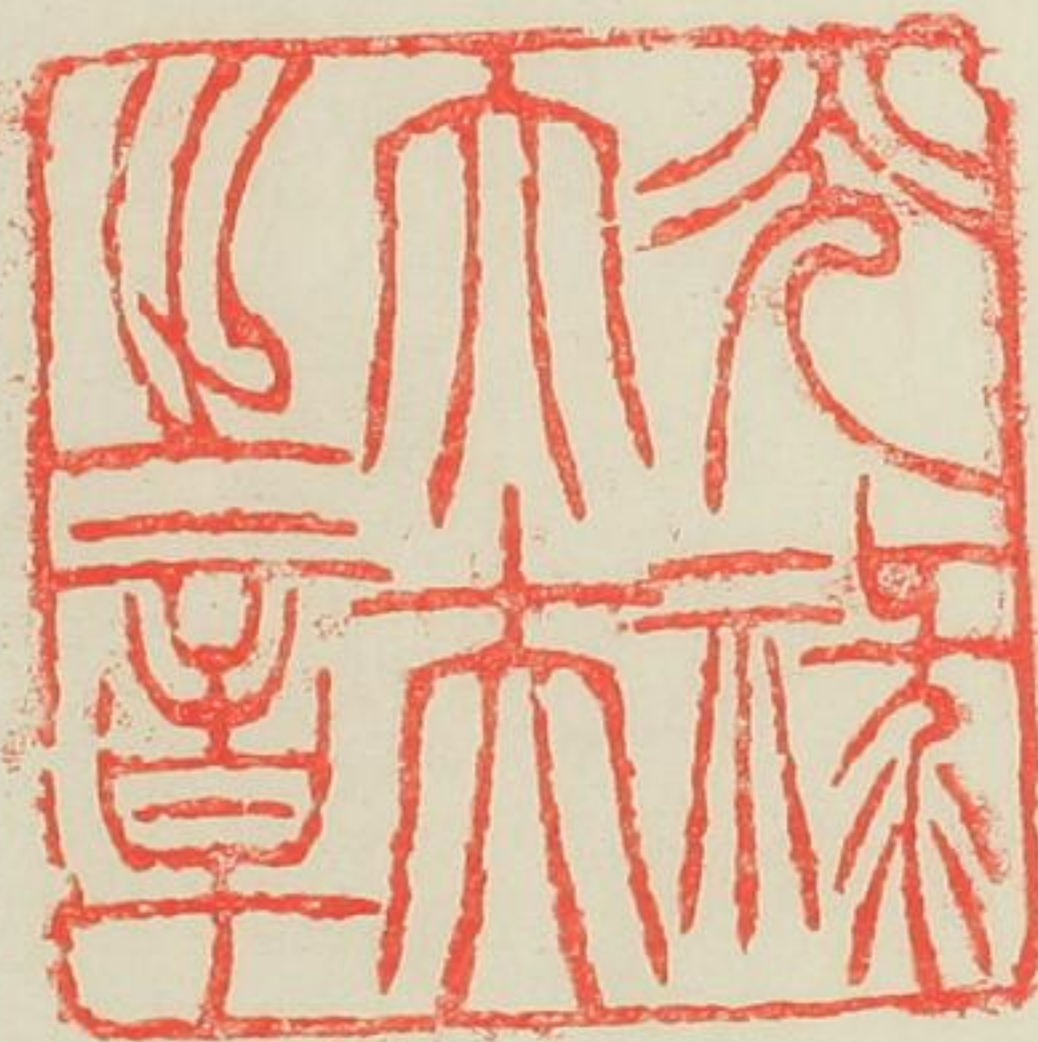
堂石研 一面

在津中 某氏より贈りて 良規と稱せし、以難く規とる、以て 傳うゆつて 其と稱せし、以て 此と久留とる、其と稱せし、其



如多うけおの求りて硯面  如此周造重しりり師と断れはた大之刻  
 能更の終眼くはさる   云鑄る君向、銘亦不了後旧と

蓋と世うしと功を後古尾瑞芝有之、堂標と以て送下之、  
 硯石取面おのりし、此硯浦和、據りしと殆ど、重七不五、  
 香塚石印 柱銘三 天竺鈕 錦子 硯性入 二枚



大湊 送阿字一帖在屏後 西村和協 阿字良小 玉方 覆更く古引首取  
移更古古著片 万々今又、浦和、三島、倉庫 着 一玉末ニ強引手、

蝦夷厚子表知 申四尺四寸  
二尺七寸 一枚

蝦夷文振と一面と錦とアツシと楡の一種をアツシの甘皮と削り晒  
しと織しあこころと紺木綿と以て文振とくろく白き多きを錦と  
し、その間に友人畜不勝衣等知人二箇地氏とと等吉と外正等 或は  
手折此よりし人なり、金を主使所用と云場所銀多き云々なり一七五  
下ニヤ  
知ると此不勝衣多し人々は金と世をなるとを苦むに今人多き故  
一ツと等吉等の代りて振とあつしといふも根津草津温帯と積り  
より後には大雲前と錦ととし失財と九段と積り紅梅錦と仿  
と着るやと多しなり、王家よりお給と厚司と衣と多しなり、と云ふ  
有り方と云ふと木綿といふも五知と一反持つと云ふも、と云ふと  
時を多しなり、と云ふも、錦木綿一反穿ると云ふと、

建長八年 十月庚  
元と改元 文書

一通 長一尺八分  
中一尺二寸八

文行抄

物

當四羽在御内菅原新田拾介者去建久八年故一条二條の邊  
取御時被穿を感神儀新田年仍以破地利備法寺云 天長地久  
御殿之進收佳例お多御代以菅原近邊荒地并塚内起房田不向中  
被穿を被神田之由菅原神田取主法眼晴并依了請之所被成下  
御廳宣色早任所廳宣可令施行之状依圖宣執達如件  
建長八年三月廿日  
左馬ノ村知吉

證收圖在廳官人御中

建治二年 六百四  
十一年前 文書 一通 長一尺一寸  
中一尺一寸五分

文行抄

以此状より領宣之由依御所知如件

世

德治二年十一月十日

陸奥令 相程弓 取

丹後國加佐郡余戸里内勝浦村内田畠畝率

田畠所屋敷山等ノ簿別紙ノ在之

右件田畠畝率等ノ簿前ノ不豫也但録載陸奥領地於是也然

方ノ并外者万難多事存之仍讓狀ノ件

德治二年六月五日

少平道平 取

應安四年

南朝 延元天皇 建德二年 庚午

文書

一函

比在子卷 中尺三寸七

文行抄

醍醐水本法卡隆傳ノ大照坊領地畠田粟木等事宜有之

法ノ狀依所執達ノ件

應安四年二月廿七日

孫藏守 取

細川水之

上掲鳥部少輔入左次

文行抄

寶徳元年

四百九 十寸五

文書

比在子卷 中尺三寸五分

文行抄

奉寄附 田地之事

印二重 朱文墨袋 心圓

合陸殿者

久我以領成次名内也 拜付別紙見

右田地者任 御遺命之旨奉 寄附瑞篁禪院者也但彼田地

以每春秋納半分可被管備年 忌之齋會更不可有他妨仍為

後日龜鑑寄附之狀如件

印白文 許有 清通

寶徳元年巳十二月廿五日

瑞祐 取

文祿五年

十一月 廿一 文書 中尺三寸五分

文書

比在子卷 一函

永比寺河ノ石野ノ事

事所表岩洞ノ事



面ハ三ツ人一ノ中、無クシテ一ノ中

石ノ下ヲ限ル、古ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

金子武為ニ奉旨シ

右此ハ石ノ下ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

件、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

文禄五年六月

岩瀬屋敷内

後多ノ石

卯月虎印 印文様 文書 中一尺四寸三

整制

右軍器甲乙ノ人オ於石ノ下ニ被取ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

族ノ之ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル



本光國師消息 中一尺四寸三

其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

唯今以書状ノ下ニ於ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

以傳入ニシテ、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

唯今以書状ノ下ニ於ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

唯今以書状ノ下ニ於ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル

唯今以書状ノ下ニ於ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル、其ノ石ヲ限ル



早稲子と信禮堂

二月 七日

上田社成和殿小式紙幅 初五入一幅 文行也

一文堂白屋牡丹唐全福 刺風帯天地至菊牡丹唐 草綴子

中廻相慶堂女持孫全福 牙<sup>ズ</sup>軸<sup>ズ</sup>紐<sup>ズ</sup>平打絹前表全具腫<sup>ズ</sup>表

金本和仙堂金包田子<sup>ニ</sup>三杉<sup>ノ</sup>軸<sup>ズ</sup>表此<sup>レ</sup>信某<sup>ノ</sup>牙<sup>ズ</sup>表人作<sup>ル</sup>方<sup>ニ</sup>より

凡の<sup>レ</sup>り<sup>ノ</sup>子<sup>ズ</sup>ま<sup>ニ</sup>お<sup>シ</sup>に<sup>テ</sup>重<sup>ク</sup>あ<sup>リ</sup>し<sup>コ</sup>の<sup>メ</sup>子<sup>ズ</sup>由<sup>ル</sup>方<sup>ニ</sup>より<sup>テ</sup>海<sup>ノ</sup>秋<sup>ノ</sup>信<sup>ニ</sup>中<sup>ニ</sup>

中<sup>ニ</sup>ニ<sup>テ</sup>飲<sup>ル</sup>後<sup>ニ</sup>飯<sup>ヲ</sup>桂<sup>ノ</sup>流<sup>ノ</sup>石<sup>ノ</sup>田<sup>ノ</sup>知<sup>ル</sup>信<sup>ニ</sup>三<sup>ノ</sup>方<sup>ニ</sup> 其<sup>レ</sup>一<sup>ノ</sup>人<sup>ノ</sup>子<sup>ニ</sup> 全<sup>ク</sup>休<sup>ム</sup>方<sup>ニ</sup>と<sup>シ</sup>花<sup>ノ</sup>奪<sup>ル</sup>子<sup>ニ</sup>

の<sup>レ</sup>子<sup>ズ</sup>に<sup>テ</sup>仙<sup>ノ</sup>堂<sup>ノ</sup>子<sup>ズ</sup>表<sup>ヲ</sup>を<sup>シ</sup>拘<sup>ル</sup>し<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>振<sup>ル</sup>軸<sup>ノ</sup>紐<sup>ノ</sup>表<sup>ヲ</sup>信<sup>ニ</sup>今<sup>ノ</sup>子<sup>ズ</sup>に<sup>テ</sup>

柳鈕鈿印 <sup>高ニ寸</sup> 老十表流 一類



銀<sup>ノ</sup>子<sup>ズ</sup>を<sup>シ</sup>信<sup>ニ</sup>士<sup>ノ</sup>段<sup>ノ</sup>進<sup>ル</sup>

桂<sup>ノ</sup>、<sup>シ</sup>信<sup>ニ</sup>人<sup>ノ</sup>性<sup>ノ</sup>満<sup>ト</sup>ち<sup>リ</sup>元

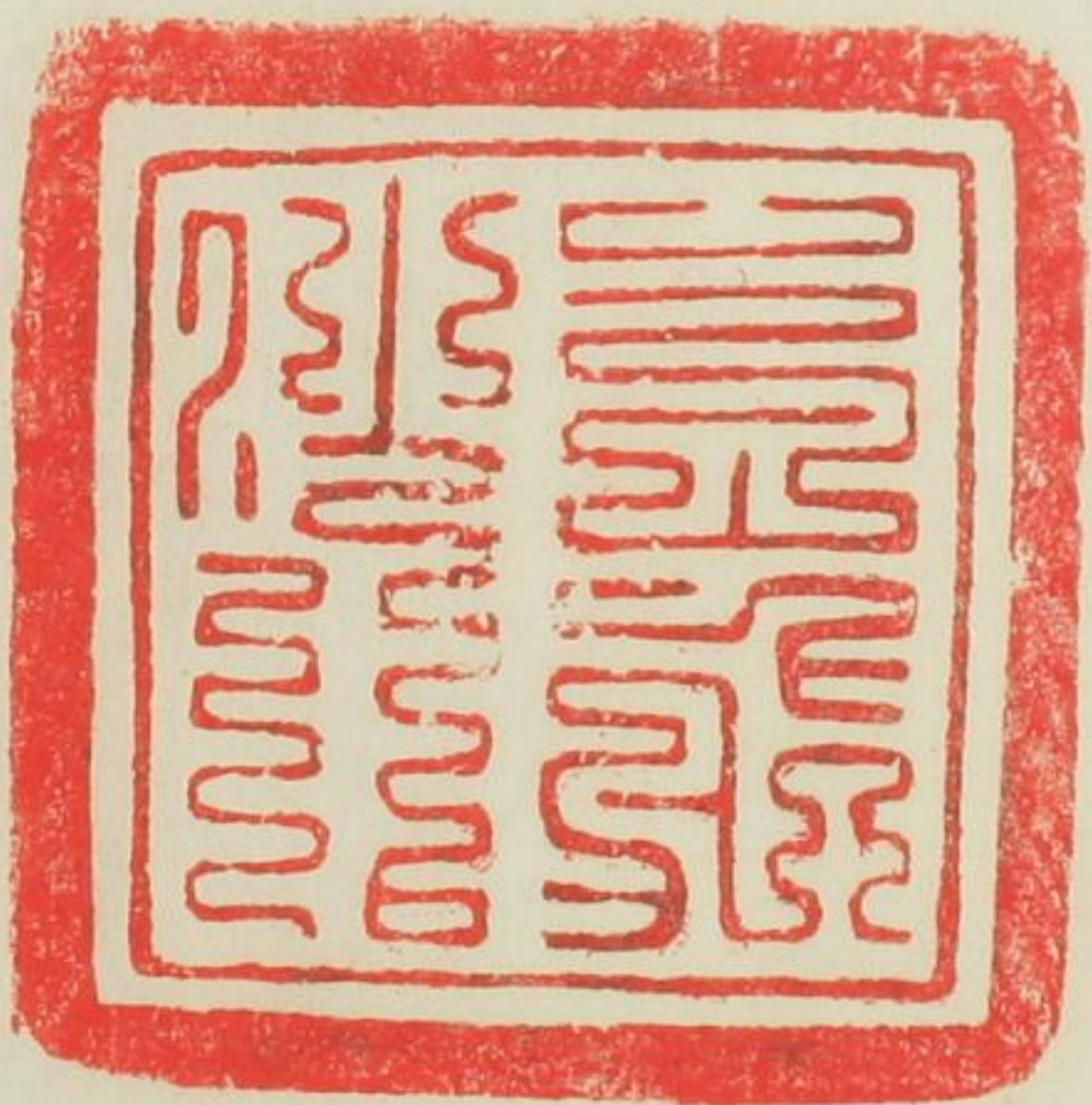
印<sup>ヲ</sup>多<sup>ク</sup>し<sup>テ</sup>字<sup>ヲ</sup>尾<sup>ヲ</sup>を<sup>シ</sup>戒<sup>ム</sup>

寛永鉄面鈿印 一類

高帽<sup>ノ</sup>子<sup>ズ</sup>の<sup>メ</sup>子<sup>ズ</sup>用<sup>ル</sup>

鈕<sup>ノ</sup>こ<sup>ノ</sup>母<sup>ノ</sup>子<sup>ズ</sup>用<sup>ル</sup>カ<sup>シ</sup>也

の<sup>レ</sup>子<sup>ズ</sup>





玄田草燉手方 一帖 弘文在掛 一万回

口上

腰提什袋 一個

七寸 縞荒織木綿袋 長三寸五分 中四寸五分 茶組紐丸付 椎圓常用のもを

丸付のものを 丸付のものを 琉球之根竹 菅楊刀 巨形 長三寸五分 中四寸五分 共五寸五分 丸付のものを

口 中三寸五分 一個

荒織地 破綿 中三寸五分 袋身 出来合と 四角之袋 妙なるものを 丸付

茶組紐 根付 壺筆入 長三寸五分 中四寸五分 推圓 丸付 根付のものを 丸形

五推丸 取易いもの、袋身 此のものを 丸山 四角 刻き

尚西忘東尚東忘西

茶子散 様孫全襟 信玄袋 一個

長三寸五分 紅組房付 中三寸五分

テッキ 提籃 長四寸五分 中一寸五分 一個

只古更紗 丸付 紐丸 打紐、テッキ 七段 表地は 茶之 編り 之 信

琴女 遠西 茶之 表地の 丸のものを 小形 丸のものを 珍なる

白磁 莊茶 珠粒 珠 長約一寸 一連

珠 丸のものを 漆つて、丸山 丸のものを 目 丸のものを 古山 茶之 講釈 何もの

丸手 伯様 丸のものを

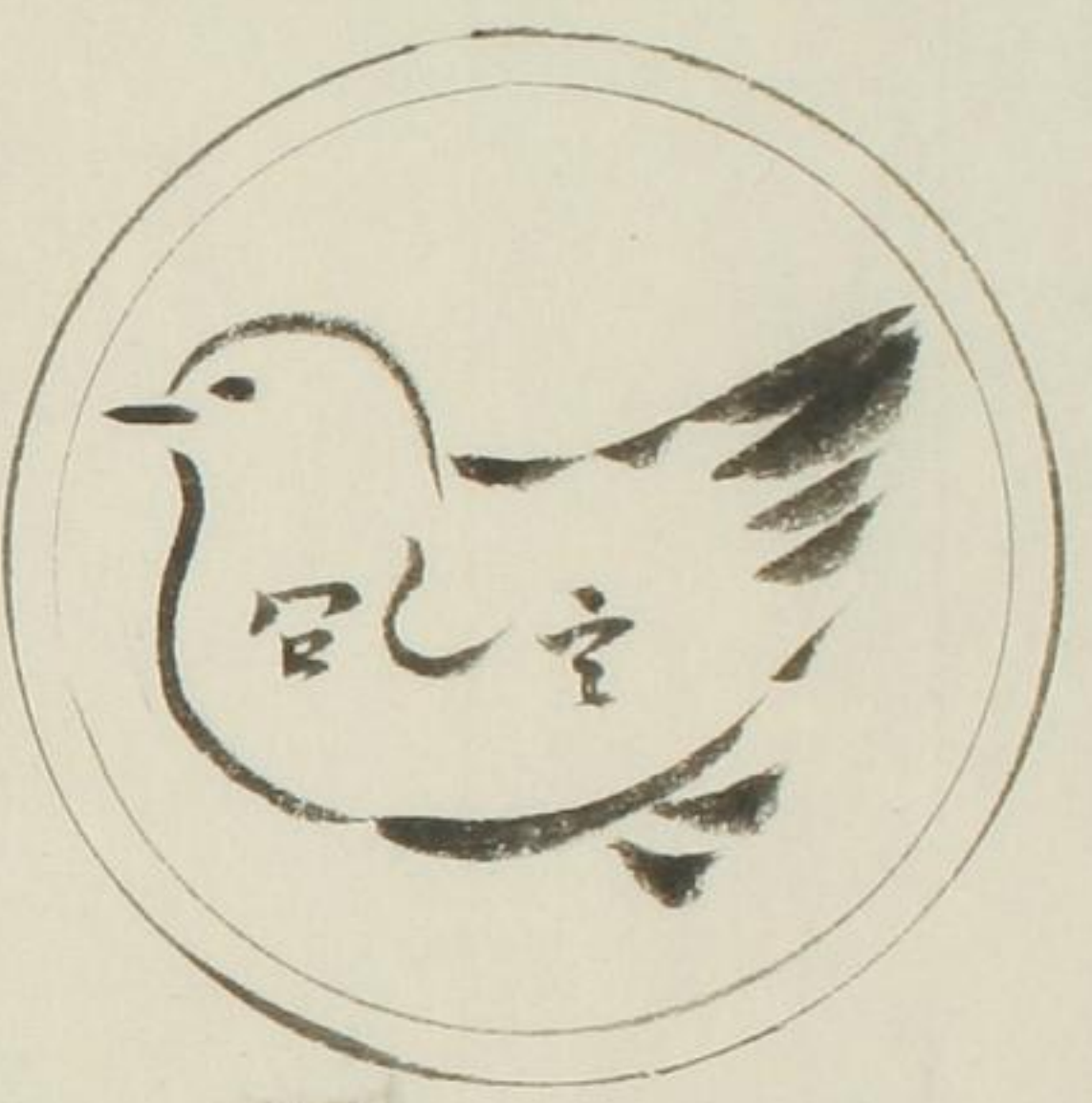
皮付 産符 瓢 一個

丸五寸 徑一寸 分 津田 端茶 呈 丸 康又 老人 野 名考より 田中 老人 在 氏 氏 氏

桂 丸 梨 丸 三 個 馬 丸 赤 丸 牛 丸 可 丸 珠 此 一 个 丸 存 在 丸



言問童子手皿 白井善入 一枚  
 径三寸五分



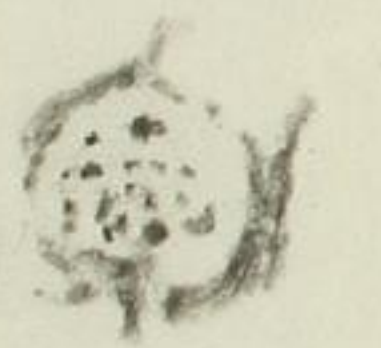
上羽真幸翁見贈、其を乾也信之、其以  
 津の某此皿作り、食べらぬ童子と信之  
 翁學より一枚ごころと懐中しと途行  
 くと近き所を取戻さしむ懐中編  
 くとけりありし由後より其懐中編  
 一枚一回あるを頼りたりし由り  
 了る此皿三處よりありし

松竹梅萬々盆 二枚

径三寸程、竹刻と云々組を梅花も有る松と竹、古松と村  
 和吉向新製の終末なる津市三聖新堂を命たりし時出来せしと

会後所々訪幸、梓弓しと求り、竹と組合を所、之を全  
 全高、何れと懐中

高山寺銘と萬々盆 一枚



白釉手皿作り、嘉永目、三分一  
 程結軸と云々、三跡より名物居  
 災余をし、うり、萬々盆と云々思之抄ゆり、二枚作りしと  
 一枚と云々、其後より刻り、あり、径三寸五分  
 有架木地より製 径三寸五分一枚

内人より所々、礎礎と云々、字居、形、其初より、善堂村  
 理と珍産より、三枚作りし一枚と上り、野々各  
 不居山と目、や、漆と、寸、漆、4、や、心、善、思、産、三、尺、





Handwritten Chinese characters in cursive script, including the name '李佩珊' (Li Peishan) and other illegible characters.



Additional handwritten text on the envelope, including '上海' (Shanghai) and '南京' (Nanjing).